

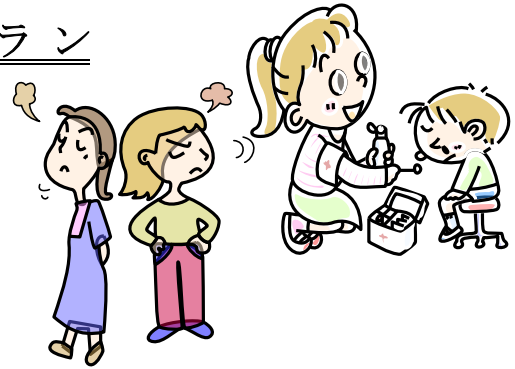
レ ス ス ン プ ラ ン

5 学年 第 1 回 (自己理解①)

テーマ : 「みんなでつながって」

授業の目標 :

- (1) 自分の価値観・自己認識について考える
- (2) どのように人々は結びついているかを自分の取り巻く状況の中で理解する



用意するもの :

ALT

担当教師

- 絵本「虹」<紙芝居仕立て>
- 「虹」のパズルピース(人数分)
- 毛糸玉

- ゲーム活動をするためのオープンスペースを確保

時間	活 動	気づいた点
1分	ALT、担当教師 はあいさつし、 担当教師 が本時のテーマを説明する。	
10分	ALTと担当教師 は「虹のパズル」ゲームについて説明する。各子どもに色の付いたパズルの一片が配られる。各人、自分と同じ色のパズル片を持っているクラスメートを捜し、パズルを組み合わせて完成させなければならない。それぞれの色(一色につき7片が集まる)が揃った時、子どもたちは完成作品を 担当教師とALT のところへ持って行く。 ALTと担当教師 は完成した色同士を組み合わせ、クラス全体の虹の完成を黒板上で作る。	
15分	子どもたちは ALT の英語、 担当教師 の日本語によって読まれる「虹」のお話を聞く。 ALT がお話に対応する絵(紙芝居)を用いながら英語でお話を読み聞かせ、 担当教師 はすぐに同様の内容を日本語で伝えていく。お話が終わった後、 担当教師 は子どもたちに、最も大切な色、最も利用価値のある色、或いは気に入った色はどの色と思ったかを尋ねる。また、どの色も虹の大切な一部であることを「雨」によってどのように語られるのかを尋ねる。	
15分	「みんなでつながってークモの巣を作ろう」活動をする。まず、 担当教師 が子どもたちを円状に立たせる。 ALT は1人の子どもの指に毛糸を2回巻きつける。 担当教師 は ALT の質問に対して答えが「はい」なら手を挙げるよう指示する。質問は、特殊な事から普遍的な事に関する質問の順序で行う。 (例) カナダに行ったことがある人→毎日晩ご飯を食べる人 ALT は「はい」と答えた人の指に毛糸を2回巻きつける。このような手順で質問を続け全員の生徒の指が毛糸に絡まった状態する。時間があれば、「カナダのどこに行きましたか?」のような質問を個別にしても良い。活動の後、子どもたちに感想を聞く。	
4分	担当教師 は、虹の色のように自分たちがどれだけ他者とは違うか、例を子どもたちに聞く。どの色も美しく、それが一緒になる時「虹」のようにもっと輝くことができることを話す。 ALT は「蜘蛛の巣」の意図を説明し、私たちはみな他の人とは違うけれども、共通してもっているものがどんなことか分かれば、仲良くやっていると話す。 担当教師 は子どもたちに、日常どんなふうに関わっているかを家族、友だち、インターネット等、様々な例を子どもたちと話題にし、まとめる。	